

北海道150年記念 新生児に記念ボールを贈呈

北海道日本ハムファイターズが、2018年の北海道命名150年記念事業に併せ、道内の全新生児に大谷翔平選手のサインをデザインした記念ボールを贈呈する事業を始めました。



対象者

- ・2018年1月1日～12月31日に生まれた新生児
- ・道内市町村の窓口で出生届を提出したもの(道外居住者で道内で里帰り出産した場合等も対象)

贈呈期間

- ・2018年1月1日～2019年1月31日まで(ただし、役場の開庁時間内)

記念ボール仕様

- サイズ 直径68mm
- 材質 ポリウレタン
- 重さ 約24g

大谷翔平選手のコメント

「自分自身も父や兄とのキャッチボールから野球を覚えましたし、運動が好きになるきっかけになってくれたらうれしいです。子どもたちの元気な声があふれ、この先も野球をはじめスポーツで活気のある北海道であり続けることを願っています」



平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から起算して満150年に当たります

国では、①「明治以降の歩みを次世代に遺す施策」②「明治の精神に学び、さらに飛躍する国へ向けた施策」③「明治150年に向けた機運を高めていく施策」の3つを柱として、関連施策を推進しています。

「明治150年」を迎える平成30年(2018年)を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくために、国だけでなく、地方公共団体や民間も含めて、日本各地で関連する多様な取組が推進されるよう、ロゴマークの使用促進や広報などを通じて、「明治150年」に向けた取り組みを行なっています。

詳しくは以下のホームページを御覧ください。

【「明治150年」ポータルサイト】<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/>



相続登記はお済みですか？

近時、相続した不動産について相続登記がされていないケースが数多く存在していることが、東日本大震災からの復興に関連して報道されるなど、相続登記が社会的な関心を集めていることを御存知でしょうか？

相続登記が放置されているため、所有者の把握が困難となり、まちづくりのための公共事業が進まないなどのいわゆる所有者不明土地問題が顕在化しており、また、相続登記の未了は、適切な管理がされていない空き家が増加している大きな要因の一つであるとの指摘もされています。

未来につなぐ、相続登記をしませんか。

詳しくは、法務省ホームページをご確認ください。

http://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00207.html



未来につなぐ相続登記